

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-527489(P2004-527489A)  
 【公表日】平成 16 年 9 月 9 日 (2004.9.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-035  
 【出願番号】特願 2002-567272(P2002-567272)  
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 31/496

【F I】

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 31/496

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 25 日 (2005.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

化合物又はその塩の吸収の主要部位が小腸中にあり、吸着の部位で見出される pH 条件において、胃におけるよりも有意に低い溶解度をそこで有する該化合物又はその塩を、フタル酸ヒドロキシプロピルメチルセルロースポリマーとの固体分散物において含んでなる経口医薬組成物。

【請求項 2】

ポリマーが、HP - 50、HP - 55、HP - 55S、又はそれらの混合物である、請求項 1 に記載の経口医薬組成物。

【請求項 3】

1 つ以上の充填剤、結合剤、崩壊剤、又は滑沢剤を追加的に含む、請求項 1 又は 2 に記載の経口医薬組成物。

【請求項 4】

化合物のポリマーに対する比が 1 : 10 ~ 1 : 0.75 である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の経口医薬組成物。

【請求項 5】

化合物のポリマーに対する比が 1 : 5 ~ 1 : 1 である、請求項 4 に記載の経口医薬組成物。

【請求項 6】

0.5 mg ~ 1 g の化合物を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の経口医薬組成物。

【請求項 7】

化合物が Xa 因子阻害剤である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の経口医薬組成物。

【請求項 8】

化合物が、1 - (6 - クロロナフト - 2 - イルスルホニル) - 4 - [4 - (4 - ピリジル)ベンゾイル]ピペラジン、1 - (5 - クロロインドール - 2 - イルスルホニル) - 4 - [4 - (4 - ピリジル)ベンゾイル]ピペラジン、及び 1 - (5 - クロロインドール -

2 - イルスルホニル) - 4 - [ 4 - ( 1 - イミダゾリル ) ベンゾイル ] ピペラジン から選  
択される、請求項 7 に記載の経口医薬組成物。

【請求項 9】

フタル酸ヒドロキシプロピルメチルセルロースポリマーの使用であって、化合物又はそ  
の塩の吸収の主要部位が小腸にあり、吸着の部位で見出される pH 条件において、胃にお  
けるよりも有意に低い溶解度をそこで有する該化合物又はその塩の経口バイオアベイラビ  
リティ及び / 又は吸着の変動性を、該ポリマーと該化合物又はその塩との固体分散物を形  
成することによって改善することにおける、フタル酸ヒドロキシプロピルメチルセルロー  
スポリマーの使用。

【請求項 10】

ポリマーが、HP - 50、HP - 55、HP - 55S、又はそれらの混合物である、請  
求項 9 に記載の使用。